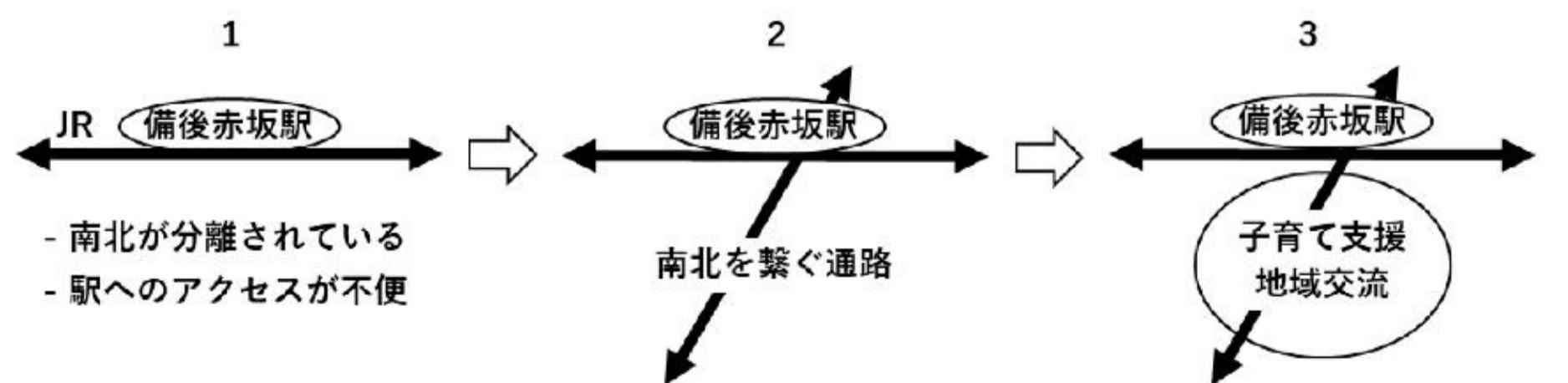


すくすくみんなで育つ子どものいばしょ



ダイアグラム



本計画は、駅による町の分離、利便性を解消するために、まず、南北を繋ぐ通路を計画した。
そして、駅南口に子育て支援、公民館、児童館の複合施設を計画することにより、各世代との地域交流を図った。

三つのエリア

一つ目は、児童館要素として体育館、プレイルーム、クラブ室、図書館を設けた。二つ目は、子育て支援要素として、相談カウンター、育児交流スペース、個室の相談スペースを設けた。三つ目は、公民館要素として、会議室、地域交流スペース、調理室を設けた。

二つのブロック

一つ目のブロックは、A棟とし図書館や相談スペースなどのパッシブな用途の建物を意識した。
二つ目のブロックは、B棟とし体育館やプレイルーム、クラブ室などのアクティブな用途の建物を意識した。二つのブロックを繋ぐ屋外スペースと階段を間に設け、ブロックを分離しつつ施設を行き来しやすい工夫をした。施設の建物を二つのブロックに分け、子どもたちが元気に活動することができるアクティブラーンジと静かな活動ができるパッシブラーンジを意識した。また、B棟と広場を隣接することにより直接出入りできるように意識した。



研究の背景と現状

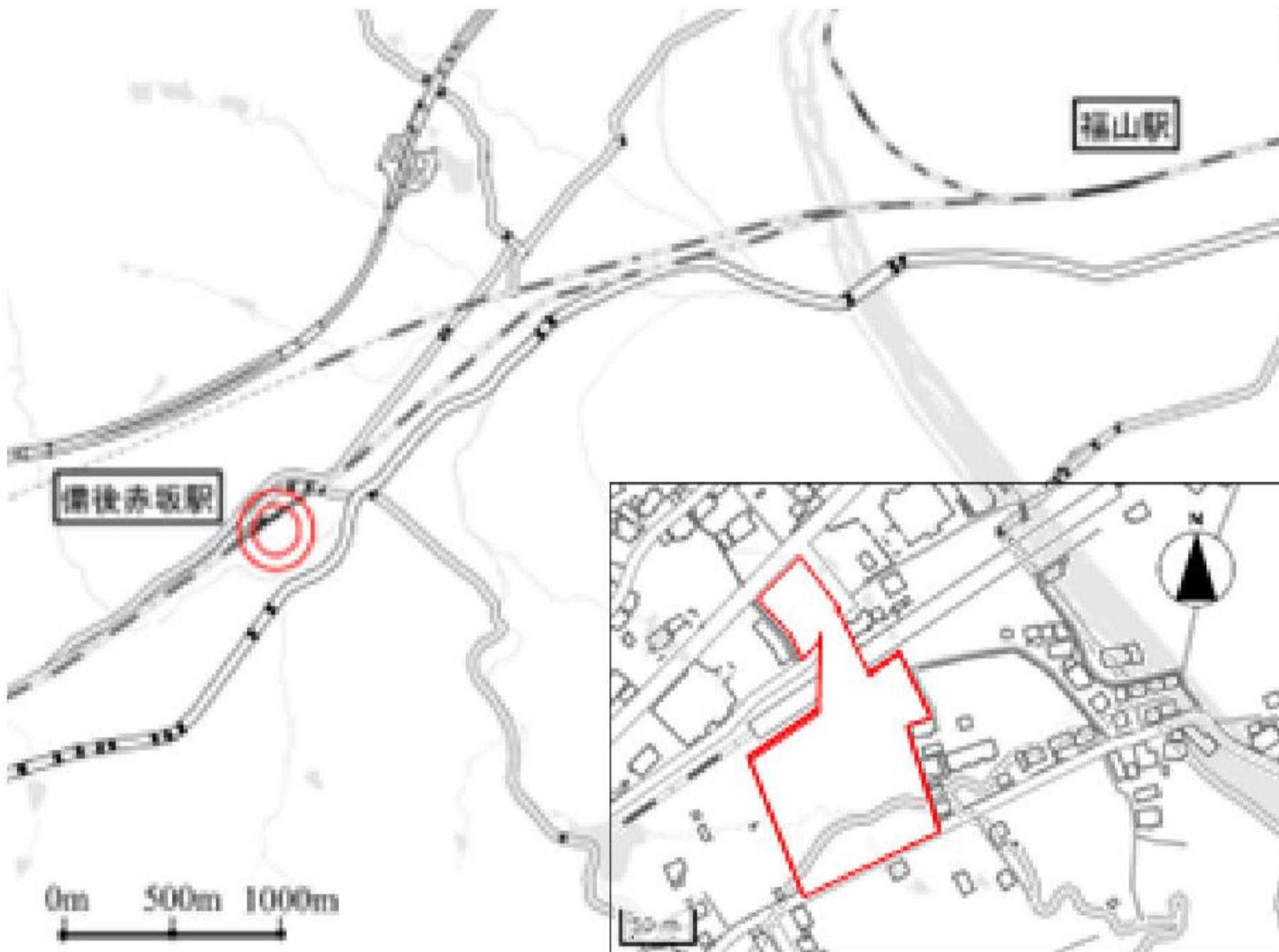
現在福山市は、コンパクトシティを目指している。その中で、赤坂町は保全型地域に指定されている。保全型地域とは、立地適正化計画の分類の1つであり、主に区域鉄道駅及びバス停周辺などにおいて、人口密度の減少を抑制し、地域住民の日常生活サービス機能を維持する区域のことである。道路計画では、神辺町や様々な町へつながる道の集結点になる予定である。現状駅へのアクセスが北口のみとなっている。そのため、通学通勤や駅の利用など駅付近の利便性が悪く町が線路で分断され不便である。また、赤坂町には子育てに必要な施設が通勤や移動など町の拠点となる駅周辺にならないため、子育てしやすい地域とは言えない。さらに、駅周辺には、団地や開発中の住宅地が多数あり、今後、人口密度が高まることが予測できる。しかし、子育てに必要な施設が少ないのが現状である。

計画目的

本計画目的は、子どもたちがすくすく育つために、地域の方々と協力し、子育てに対する不安や負担を軽減する事により、子どもが快適に生活できる施設を提案する。

計画敷地

計画敷地は、広島県福山市赤坂町内において、通勤や通学など移動の拠点となり、現在、宅地開発が進み、これから人口が集中することができる駅南周辺とする。



コンセプト

本計画は、子どもが主体の子どもファーストな施設を目指し、子どもたちだけではなく子育てる側も一緒に育ち成長できる施設を目指す。

また、元気な高齢者の知識や知恵を借り、高齢者から小さな子どもまで、地域全体を巻き込む形で子育てを支援し、集まるすべての人が活躍し元気をもらうことのできるような施設を目指す。

そして、シルバー人材や子育て支援など様々な支援を活用し、子どもや子育ての悩みを解決できる施設を目指す。

計画の基本方針

施設の基本方針は、主に3つ要素の取り入れを目指す。

A) 子どもの成長は環境が重要であり、子どもが快適にすくすく育つために地域全体を巻き込み、子育てをするとともに大人たちも成長できるような施設の提案。

B) 子育てをするにあたって、子育て世代は不安や負担がつきものである為、行政的な支援や小児科のような健康面での支援、物販としてドラッグストアなどの支援などができる施設の提案。

C) 健康な高齢者に率先して参加してもらい、経験や知識で子どもたちや子育て世代の支援ができるよう、交流する場を増やし地域全体の活性化を目指す施設。



